

業務量調査分析委託業務公募型プロポーザルに係る質問に対する回答

No.	項目
	質問
	回答

【実施要領】

1	項目	実施要領 3参加資格
	質問	(1)から(5)の要件がありますが、それ以外の要件は必要無いということよろしいでしょうか。
	回答	参加資格については、(1)～(5)に掲げる要件以外のものではありません。
2	項目	実施要領 7提案書の提出手続 (1)提出書類
	質問	(1)提出書類提案書(様式第7号)には枚数の記載はございませんが、指定枚数はないということよろしいでしょうか。
	回答	提案書については、枚数の指定はありません。

【仕様書】

3	項目	仕様書 5業務内容
	質問	本仕様でのヒアリング・事前説明会・提案・報告業務の実施時間は、原則平日9時～17時でよろしいでしょうか。
	回答	原則平日8時半～17時内で調整します。
4	項目	仕様書 5業務内容 (2)事業可視化のための調査
	質問	調査の対象は全部署の全事務事業の想定でしょうか。
	回答	調査の対象は、全部署の全事務事業を想定しています。
5	項目	仕様書 5業務内容 (2)事業可視化のための調査
	質問	「職員を対象とした事前説明会」とありますが、参加対象者はどの地位の方を対象と想定されていますでしょうか。
	回答	基本的には調査様式を記入する担当職員向けを想定していますが、課長・係長級職員が希望して説明会へ参加することも考えられます。
6	項目	仕様書 5業務内容 (2)事業可視化のための調査
	質問	事前説明会の内容は、調査内容の説明以外に今回の業務概要や自治体DXについての説明も含めたほうがよろしいでしょうか。
	回答	事前説明会の内容については、調査目的を明確化し、全庁で共通認識をもって取り組めるよう、業務量調査分析の主旨や自治体DXの概要についても説明いただくことを想定しています。
7	項目	仕様書 5業務内容 (2)事業可視化のための調査
	質問	回答例について同様事例が無い場合、記入方法が、具体的に分かりやすく説明されていればよいでしょうか。
	回答	小郡市単独で行っている独自の事務事業については、記入方法が具体的に分かりやすく説明されていることで足りませんが、他自治体でも同様に行われている事業又は類似の事業については、基本的に他自治体の回答例が参照できる状態にあることを想定しています。
8	項目	仕様書 5業務内容 (2)事業可視化のための調査
	質問	ヘルプデスクの設置期間はどれくらい必要でしょうか。(調査期間中でよいでしょうか)また業務時間は原則平日9時～17時でよろしいでしょうか。
	回答	ヘルプデスクについては、事業可視化のための調査期間中の設置を想定しています。また、ヘルプデスクの対応時間は、原則平日8時半～17時内で調整します。
9	項目	仕様書 5業務内容 (3)調査取りまとめの実施
	質問	調査様式の項目を活用した簡易な業務の手順書は、調査を実施した現行業務の業務プロセスが把握できるものを作成する理解でよろしいでしょうか。
	回答	簡易な業務の手順書の記載項目に指定はありませんので、内容については提案をいただくこととなります。
10	項目	仕様書 5業務内容 (4)調査結果の分析
	質問	「業務の効率化が見込める事務事業」について、想定している件数はございますでしょうか。
	回答	市全体の事務事業数は約800事業ですが、現時点で「業務の効率化が見込める事務事業」の件数は具体的に想定していません。

11	項目	仕様書 5業務内容 (4)調査結果の分析
	質問	調査結果の分析および費用対効果の算出にあたって、導入するシステム等の費用は想定でよいでしょうか。
	回答	導入するシステム等の費用については、想定額で問題ありません。
12	項目	仕様書 5業務内容 (5)BPRによる業務改善案の提案
	質問	業務効率化の方法(AIやRPA等のICT導入可能性)とありますが、現在ご利用されているAIツールはございますでしょうか。例)RPAなど。また、実行効果を示すこと、とありますが、想定される効果でよろしいでしょうか。
	回答	現在本市では、いくつかの業務において既にRPAを導入しています。また、改善案の提案を実行した場合の効果は、想定される効果で問題ありません。

【審査基準】

13	項目	審査基準 5見積価格の妥当性
	質問	提案限度額に占める見積価格の割合の配分は教えていただけますでしょうか。
	回答	審査基準に記載している以上の内容については、回答できません。